

# Nursing あい

北海道看護協会十勝支部ニュース

発行者 (社)北海道看護協会十勝支部  
編集責任者 光 恵子

No.101

2019年7月発行



北海道看護協会 シンボルマーク



## 支部長のご挨拶

十勝支部 支部長 光 恵子

会員の皆様、4月の新任の方々もそろそろ業務に慣れて「ほっ」と一息つくことができる日々となっていることだと思います。

4月末から5月初めの10連休は、どのようにお過ごしでしたか。

十勝は、まあまあ良い天気に恵まれ、桜などが一気に咲いて風で一気に葉のみとなり……と変化が激しかったですね。全てお休みの方もお仕事でした～と言われる方も気持ちの良い時間は過ごせたのではないでしょか。

さて、2月の十勝支部大会は151名の会員により大会が成立し活動において承認を得ました。参加会員は、病院事業所は変わらず多くありますが、行政、訪問ステーション、介護施設、特養施設など看護領域Ⅱの方の参加が増えております。

2019年度は、研修内容を検討しました。在宅移行支援に関するものは継続し、その他にアドバンスプランニングケアを視野に「ELNEC-J」を新規に開催、働き続けられる職場環境づくりの推進として「労働環境改善に係る講演」、看護領域Ⅱとして本部と協働し看護領域Ⅱ分野の看護管理者交流を目的とした研修を新規で企画開催いたします。

勉強はしたいけれど……学校行事があって……両親を見なければ……と札幌であっても研修に時間が取れない、参加できないなどの希望に応えられるように企画運営したいと考えております。

役員・委員総勢49名が、業務の傍らそれぞれの役割を発揮しております。皆様にとって支部研修等に参加することにより、日々の活動に役立てることが出来ること、十勝の看護職の「顔の見える連携」に寄与すること、専門職として働き続けられることを期待いたします。

是非、活用し様々なご意見・ご要望をいただき、より一層要望に副った活動をしたいと考えております。今年度もよろしくお願ひいたします。

### 第35回十勝支部看護研究会

日 時：平成30年12月1日(土) 13:00～16:00  
場 所：帯広市とかちプラザ レインボーホール

今回の研究会では9演題の発表がありました。研究発表の前に講演会があり「施設での看取りの実際と今後の方向性」について介護老人保健施設アメニティ帯広 看護部兼在宅支援部 部長 北畠良子先生にご講演いただきました。



## 第Ⅱ群

座長 細田 美保子

医療法人社団刀圭会 協立病院 看護副部長



医療法人社団 博愛会  
開西病院  
西2病棟 看護師

照井 舞

### 十勝支部看護研究発表会に参加して

この研究は、装具を自己で外した際に脱臼や再断裂の危険性があることを、患者様により理解してもらうために開始しました。しかし、患者様が危険肢位をとらないためのパンフレットを作成しており、方向性がぶれた時がありました。また、研究期間中に対象患者様が入院してこなかったため研究がすすまない期間がありましたが、後期研究期間では年齢制限をなくし、対象を拡大したことで滞りなく

研究をすすめることができました。前年度でインシデント発生数が多く、病棟でも課題となっていたことをテーマに研究を行い、インシデント数を減らすことができたことや、作成したイラストが他病棟でも活用できるものとなったことは達成感につながりました。今回の研究で、視覚に訴えること、患者様の理解を確認することの大切さを再認識できたため、今後の看護に活かしていきたいと考えます。



J A 北海道厚生連  
帯広厚生病院  
8南病棟 看護師

松金 伸弥

### 研究の苦労と感想

今回初めて、質的記述的研究に取り組みました。消化器内科病棟でストーマ造設患者さんと関わり、テーマは術前・後の心情変化と看護師の関わりについてインタビュー研究を行いました。インタビュー研究を通し、一人の患者と深く関わることで、術前・後の患者の心情や、必要なケアは様々であり、改めて患者と向き合いケアを行うことの重要性を感じることができました。研究を進めるにあたり、初めてのことが多く、一つ一つにとて

も時間がかかってしましたが、研究を終えた時には、その分、達成感を感じることができました。今回研究を行い、たくさんの学びを得ることができました。慌ただしい毎日ですが、今後も患者さん一人一人と向き合うことを大切にして、患者さん毎に、最良の看護が提供できるよう取り組んでいきたいと思います。



独立行政法人  
国立病院機構 帯広病院  
3病棟 看護師

奈良岡 麻梨奈

### 十勝支部看護研究発表会を終えて

今回、研究を行うにあたって、研究メンバーとの勤務調整と役割分担に苦労しました。普段の業務の中に看護研究の時間を組み、研究メンバーそれぞれが研究計画に沿って役割を遂行していくことに大変さを感じました。その中でも、研究メンバーと勤務がなかなか合わず、計画通り進められるかという不安もあり、日々互いに連絡を取りながら進めていくことに難しさも感じました。

また、研究を進めていく上では文献検索や

文献の取り寄せ、文献の選択にも苦労しました。私自身、初めて看護研究に携わるということもあり、慣れない作業も多かったですが、その都度メンバーで話し合いを繰り返し順調に進めていくことができました。患者さんにおいても研究の前後を比較すると良い変化、反応が見られ、家族からの反応もよく自分としても良い経験をさせていただくことが出来ました。患者さんをはじめ、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

## 第Ⅱ群

座長 藤田千春

医療法人德州会 帯広德州会病院 看護主任



刀圭会協立病院  
内科外来 看護師  
中村 朋子

### 十勝支部看護研究発表会に参加して

この度は、大変良い発表の機会を与えて頂きありがとうございました。今回私達は「低血糖パンフレットを配布して」という内容で、日頃行っているパンフレット配布や指導が、どれだけ患者様へ伝わり、お役に立てているか知りたいとの思いから研究を行いました。パンフレットを覚えていた方は36%にとどまりました。覚えていた方の中で役に立ったと答えた方は52%でした。今後の指導をどうしていくべきかを考えたときに、高齢の患

者様が多い事だけを理由にしていてはいけないと思いました。高齢の方の生活に直接関わりがあり、興味を持ってもらえる内容を私達も勉強しながらお伝えしていくことが必要だと感じました。内科スタッフで協力し、まとめた今回の研究は、私達が日頃行っている看護にも通じるものがありました。何をお伝えするにも形式だけではなく、患者様が知りたいと思うことを考え看護を行っていくように、これからも努力していきたいと思います。



社会医療法人北斗  
十勝リハビリテーションセンター  
障害者病棟 看護師  
手塚 美奈子

### 十勝支部看護研究発表会を終えて

今回の看護研究は、看護師3名、介護士2名の合計5名で行い、計画作成から発表まで約9か月をかけて取り組みました。私自身は、今まで看護研究に参加したことは数回しかなく、数年ぶりの経験でした。そのため、研究や論文作成に苦手意識を持っており、進め方にも自信がありませんでした。しかし、院内での数回に渡る看護研究の勉強会や、研究について知識豊富なメンバーや上司のアドバイスにより、計画通りに研究を進め、まとめることができたと思います。

しかし、業務時間内で話し合いをすることは困難なため、毎回時間外での集まりとなりました。メンバーのほとんどが子育て時期だったため、家庭と両立しながら話し合いの時間を確保することに大変さを感じました。

また、実際の介入では、一時的とはいえ業務量が増えてしまい、看護研究メンバー以外の理解と協力が必要不可欠な状態でした。研究の必要性・進捗状況をその都度、病棟全体

に伝えていくことで協力を得ることができました。病棟全体で協力していただけたことに感謝するとともに、自分がメンバーでないときも積極的に協力していくことがより良い研究・病棟全体の看護の質向上につながると感じました。

苦労した点も多々ありますが、それ以上に、看護研究に取り組むことで多くの学びを得ることができ、自己の成長にもつながったと考えます。

また、十勝支部の研究発表会に参加させて頂いたことで、他の病院での研究を知る良い機会となり、今後の参考にしたいと思いました。発表者として初めて参加させていただきましたが、緊張のため質問していただいた方に良い返答ができませんでした。相手に研究してきた内容・成果をしっかりと伝えるためにも、プレゼンテーション能力を向上させる必要があると感じました。



十勝勤医協  
訪問看護ステーション  
ほっとらいん 看護師  
内田 真紀子

### 平成30年度 十勝支部看護研究発表会に参加して

今年も様々な分野からの研究発表が聞けました。

患者さんや私達にとって役立つ知識や技術の習得になる事が多々あり、参加する度に刺激を受けています。

訪問看護ステーションほっとらいんのテーマは、「最近、なんだかこの人は内服が飲めるようになったよね」と看護師が言ったことから始まりました。

利用者自身の自立支援、家族の介護力を引

き出す、協働の作業を行う事で関心を持つてもらうことが出来たりと今後の看護に役立つ事を再確認できました。

忙しく過ぎる毎日ですが、ちょっと立ち止まり振り返ってチームで考える事は大事ですね。

今後も発表会には積極的に参加して、皆さんの看護活動を学びたいと思います。準備をされた役員の方々、本当にありがとうございました。

## 第Ⅲ群

座長 藤原美加

公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 看護副部長



帯広厚生病院  
外来1  
看護師  
石原 悅子

### 十勝支部看護研究発表会を終えて

今回看護研究発表を終えての感想は、「終わって良かった」の一言に尽きます。

終末期における意思決定支援について、在宅療養患者と家族支援についてのインタビュー研究でしたが、残された夫に死後一年後訪問してのインタビューを実施しました。夫の話を傾聴し、家族のありのままの思いを知り、自分達の看護を振り返る機会となりました。

終末期の看護において、信頼関係を築き、その人らしさを尊重することも重要であるこ

とが明確になりました。また、あたりまえの日常が、人間の楽しみや生きている意味を作っている。あえて病気や死を意識せず過ごすことも有効であることも学びました。訪問看護師として死に直面する場面では、療養者、家族にとって最良なケアであったかという視点を持ち、生きる意味を問い合わせ、存在そのものを認める姿勢で、今後も看護を実践していくたいと考えます。



独立行政法人  
国立病院機構 帯広病院  
5病棟 看護師  
川瀬 まなみ

### 十勝支部看護研究発表会に参加して

今回、統合失調症と精神発達遅滞を併せ持ち、不適応行動（泣き続ける、ベッド内に立ち上がる、大声を出し続ける）がある患者へのタッピングタッチによる不適応行動の減少について取り組みました。タッピングタッチは、うつ的症状、不安、痛みなどの軽減効果があると言われています。この研究は対象患者の精神・身体状況の変化により、不適応行動が減少するまでの効果を検証することはできませんでしたが、患者の苦痛を軽減し、笑顔を取り戻して欲しいという強い思いから、

スタッフ全員が患者と向き合い、触ることで身体の緊張が解け、険しかった表情が緩み、リラックスしてもらうことが出来ました。

十勝支部看護協会発表会では、他施設の取り組みを聞かせていただき、患者・家族の思いに沿った関わりが多く、特に終末期医療での関わりは、大変興味深く、勉強になりました。看護研究は、限られた時間のなかで行うため、とても大変でしたが、患者家族の思いに寄り添うことで、看護の質の向上に繋がったと思います。



公立芽室病院  
2階病棟 看護師  
武田 亜矢

### 十勝支部看護研究発表会を終えて

今回の研究は自分達ですぐに取り組み始めた訳ではなかったため、テーマ決めから行き詰まり大変ストレスを感じていました。

テーマ決定後も、必要な情報を効果的に収集できるようなアンケート作りの難しさを実感したり、勤務の合間に縫ってのまとめ作業など苦労する点が多かったです。

しかし、院内看護師の思いを知り伝える良い機会とすることができたと思います。このような学びの機会を与えてくださり感謝します。

これからも「この病院で見てもらえて良かった」と感じてもらえるよう、患者・家族に寄り添った看護を実践していきたいと思います。

# 平成30年度北海道看護協会十勝支部大会



日 時：2019年2月9日(土) 12:30～

場 所：帯広市民文化ホール

テーマ

「認知症のアセスメントとケア」

J A 北海道厚生連 帯広厚生病院

認知症看護認定看護師 和淵ゆかり先生

講 師

## 北海道看護協会

### 十勝支部大会・講演会の感想

独立行政法人国立病院機構 帯広病院

重症心身障がい児（者）病棟 看護師 木内 陽子

十勝支部大会・講演会は、自分の看護を振り返る内容の講演会が楽しみで、今年度も参加させていただきました。昨年は看護倫理、今年度は認知症ケアとアセスメントの講演でした。それぞれの認知症のタイプ・その経過と特徴・認知症の症状と関わりについて講義がありました。講義を聴いて改めて「その人の自尊心・羞恥心を大切にした関わり」が大切であると感じました。また、認知症者だけでなく全ての患者への関わりに共通することだと思います。また、講義の中の「コミュニケーションの基本」を参考に自分の関わりがど

うであったかを振り返る機会となりました。

支部大会では支部長の挨拶の中に、災害時に看護職が各組織においての支援、看護協会の災害支援ナース活動など各種支援活動・調整を実施し活躍していたとありました。様々な場所で看護職が活躍したことを探り、改めて災害に対応できるよう準備しておくことが必要であると感じました。総会では152名の参加の中、今年度の役員の方が行った様々な取組と次年度の活動計画が発表されました。様々な研修企画があり、とても興味深いものでした。今後も専門職として知識・技術を向上できるよう研修や学習会に参加し、実際の現場で患者ケアに活かしていくことを考えました。



## 2019年度新役員紹介

支 部 長 光 恵子  
第一副支部長 野原 直美  
第二副支部長 横尾 洋子  
第一 書 記 泊澤 優子  
第 二 書 記 佐藤 涼子  
会 計 桜井 博恵  
会 計 田岡 桂子

保健師職能委員  
山本 かなこ  
高桑 佐登美  
藤平 さつき  
○志賀 裕子  
明日見 由香

### 助産師職能委員

谷口 亜紀子  
三好 三知子  
○三浦 由香  
杉本 恵里花

### 看護師職能委員

室瀬 七重  
山本 美幸  
太田 大介  
松本 紗綾  
○山口 智子  
上田 紀美子

### 働き続けられる職場 づくり委員

中村 裕子  
関 美奈子  
工藤 智恵子  
○平林 太一  
大方 ひろみ  
佐藤 祐子

### 教育委員会

中川 知子  
助川 麻衣子  
渡部 知行  
光澤 恵美  
○原田 佳子  
山本 芳枝  
千葉 道子

### 推薦委員会

○古川 恵  
田中 純子  
佐々木 ゆかり

### 特別委員会

池端 幸恵  
曾我部 理恵  
和地 光枝  
○武田 ゆかり  
北川 美江  
○印は委員長

### 広報委員会

太田 紗子  
細野 麻奈  
○奥田 千栄子  
裏南 文子

## 北海道看護協会十勝支部会員数

(2019年5月5日現在)

保 健 師 94名

看 護 師 1,691名

会員総数

2,062名

助 产 师 71名

准 看 護 师 206名

